

# **地場企業の経営動向調査**

**(平成28年度第1四半期)**

**平成28年7月27日**

**FCC 福岡商工会議所**

**総合企画本部 企画広報グループ**

**TEL 092-441-1112**

## 調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

## 調査対象

当所会員企業を対象とし3,368社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 3,212社（構成比率95.4%）、大企業156社（構成比率4.6%）により構成されている。

回答した企業数は634社、回答率18.8%となっており、回答企業の内訳は、中小企業597社（構成比率94.2%）、大企業37社（5.8%）となっている。

## 調査要領

四半期毎にアンケートを実施し、今回からファクスを利用した。内容は前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成28年4～6月期の実績、及び平成28年7～9月期の予想について、平成28年6月末時点での調査した。

## 調査内容

※DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI … Diffusion Index (景気動向指数) の略

### « 景気・経営動向調査 »

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 資金繰り
8. 当面の経営上の問題点

平成28年度 第1四半期

調査対象企業数及び回収結果

規 模 別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全 業 種	3,368	634	18.8%	
中 小 企 業	3,212	597	18.6%	94.2%
大 企 業	156	37	23.7%	5.8%

業 種 別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全 業 種	3,368	634	18.8%	
<b>建 設 業</b>	<b>579</b>	<b>123</b>	<b>21.2%</b>	<b>19.4%</b>
土 木 建 設 業	237	54	22.8%	8.5%
建 設 付 帯 工 事 業	143	21	14.7%	3.3%
電 気 ・ 管 工 事 業	199	48	24.1%	7.6%
<b>製 造 業</b>	<b>420</b>	<b>85</b>	<b>20.2%</b>	<b>13.4%</b>
食 料 品 製 造 業	125	16	12.8%	2.5%
織 綿 製 品 製 造 業	19	6	31.6%	0.9%
建 材 ・ 木 ・ 紙 製 品 製 造 業	15	2	13.3%	0.3%
印 刷 ・ 製 本 業	87	15	17.2%	2.4%
窯 業 ・ 土 木 製 品 製 造 業	14	5	35.7%	0.8%
金 属 製 品 製 造 業	38	10	26.3%	1.6%
一 般 機 械 器 具 製 造 業	37	14	37.8%	2.2%
電 気 機 械 器 具 製 造 業	38	8	21.1%	1.3%
そ の 他 製 造 業	47	9	19.1%	1.4%
<b>卸 売 業</b>	<b>525</b>	<b>101</b>	<b>19.2%</b>	<b>15.9%</b>
食 料 品 卸 売 業	145	28	19.3%	4.4%
織 綿 製 品 卸 売 業	40	4	10.0%	0.6%
建 材 ・ 住 宅 機 器 卸 売 業	76	17	22.4%	2.7%
金 属 ・ 鋼 材 卸 売 業	8	0	0.0%	0.0%
一 般 機 械 器 具 卸 売 業	92	19	20.7%	3.0%
電 气 機 械 製 品 卸 売 業	12	4	33.3%	0.6%
石 油 ・ 化 学 製 品 卸 売 業	17	5	29.4%	4.1%
そ の 他 卸 売 業	135	24	17.8%	3.8%
<b>小 売 業</b>	<b>385</b>	<b>61</b>	<b>15.8%</b>	<b>9.6%</b>
食 料 品 小 売 業	100	11	11.0%	1.7%
衣 料 品 ・ 身 の 回 り 品 小 売 業	59	10	16.9%	1.6%
石 油 ・ 化 学 製 品 小 売 業	16	5	31.3%	0.8%
車両運搬具小売業	28	5	17.9%	0.8%
家電・厨房器具小売業	38	6	15.8%	0.9%
量 販 店	3	1	33.3%	0.2%
そ の 他 小 売 業	141	23	16.3%	3.6%
<b>運 輸 ・ 倉 庫 業</b>	<b>190</b>	<b>41</b>	<b>21.6%</b>	<b>6.5%</b>
旅 客 運 送 業	63	11	17.5%	1.7%
貨 物 運 送 ・ 倉 庫 業	127	30	23.6%	4.7%
<b>サ ー ビ ス 業</b>	<b>1,269</b>	<b>223</b>	<b>17.6%</b>	<b>35.2%</b>
情 報 处 理 サ ー ビ ス 業	177	37	20.9%	5.8%
そ の 他 事 務 所 サ ー ビ ス 業	580	104	17.9%	16.4%
ホ テ ル ・ 旅 館 ・ 飲 食 業	174	23	13.2%	3.6%
そ の 他 の 個 人 サ ー ビ ス 業	338	59	17.5%	9.3%

## 調査結果のポイント

### 【業況について】

- 本調査は4月に発生した熊本地震直後の四半期調査となった。今四半期（H28年4～6月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は20.2%（前期比▲8.0ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は35.0%（前期比+3.1ポイント）、「横ばい」であると回答した企業割合は40.5%（前期比+1.8ポイント）となった。DI値は▲14.8（前期DI値▲3.7）となり、前一期比で▲11.1ポイントと2期連続での悪化となった。
- 規模別にみると、調査対象の94.2%を占める中小企業がDI値▲14.7（前期比▲8.1ポイント）で2期ぶりの悪化。大企業は11.2（前期比▲22.8ポイント）と大幅な悪化となった。
- 業種別にみると、運輸・倉庫業（前期12.4→今期▲9.8）が3期連続で悪化になったほか、小売業（▲6.8→▲26.2）、サービス業（7.8→▲9.4）で大幅に悪化した。建設業（▲8.1→▲13.9）や製造業（▲19.4→▲22.6）、卸売業（▲12.1→▲15.0）も悪化となっており、全業種で悪化する結果となった。熊本地震に伴う旅行客の減少や消費の減退などが、幅広く業況の押し下げ要因となった。
- 次期四半期（平成28年7月～9月）予測については、▲7.6となっており、今期比+7.2ポイントで、改善の見通しとなる。熊本地震の影響からは和らぎつつあるものの、慢性的な人手不足、消費の減退への懸念から、中小企業においては先行きへの慎重な姿勢を崩していないと考えられる。

### 【項目別の動向について】

- 項目別にみると、原材料・製(商)品仕入価格DI（前期20.9→今期14.9）と受注価格・販売価格DI（▲0.7→▲7.4）は2期ぶりに、生産額・売上額・完成工事高DI（▲4.1→▲9.7）と営業利益DI（▲10.5→▲13.6）は2期連続での悪化となった。資金繰りDI（▲4.0→▲1.9）は4期連続の改善となった。
- 当面の経営上の問題点として最も多かったのは、「人材難、求人難、定着化の悪化」50.3%（前期比+2.4ポイント）であり、次いで「受注、需要の増加又は減少」43.7%（前期比▲0.2ポイント）、「営業利益の低下」32.0%（前期比▲0.2ポイント）、「経費の増加」25.6%（前期比▲0.7ポイント）、「天候などの自然条件」16.4%（前期比+3.0ポイント）となった。
- 業種別でみると、建設業では「人材難、求人難、定着化の悪化」63.4%、製造業では「受注、需要の増加又は減少」53.6%、卸売業では「受注、需要の増加または減少」48.0%、小売業では「人材難、求人難、定着化の悪化」37.7%、運輸・倉庫業では「人材難、求人難、定着化の悪化」63.4%、サービス業では「人材難、求人難、定着化の悪化」58.3%で、それぞれ最も多かった。

## 1. 自社・業界の景況

### 《大きく悪化、次期は改善の見通し》

今四半期（H28年4～6月）の地場企業の景況状況としては、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は20.2%（前期比▲8.0ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は35.0%（前期比+3.1ポイント）、「横ばい」であると回答した企業割合は40.5%（前期比+1.8ポイント）となった。景況判断指数D-I値は▲14.8（前期D-I値▲3.7）となり、前期比で▲11.1ポイントと悪化した。

規模別にみると、調査対象の94.2%を占める中小企業がDI値▲14.7（前期比▲8.1ポイント）、大企業は▲11.2（前期比▲22.8ポイント）となった。

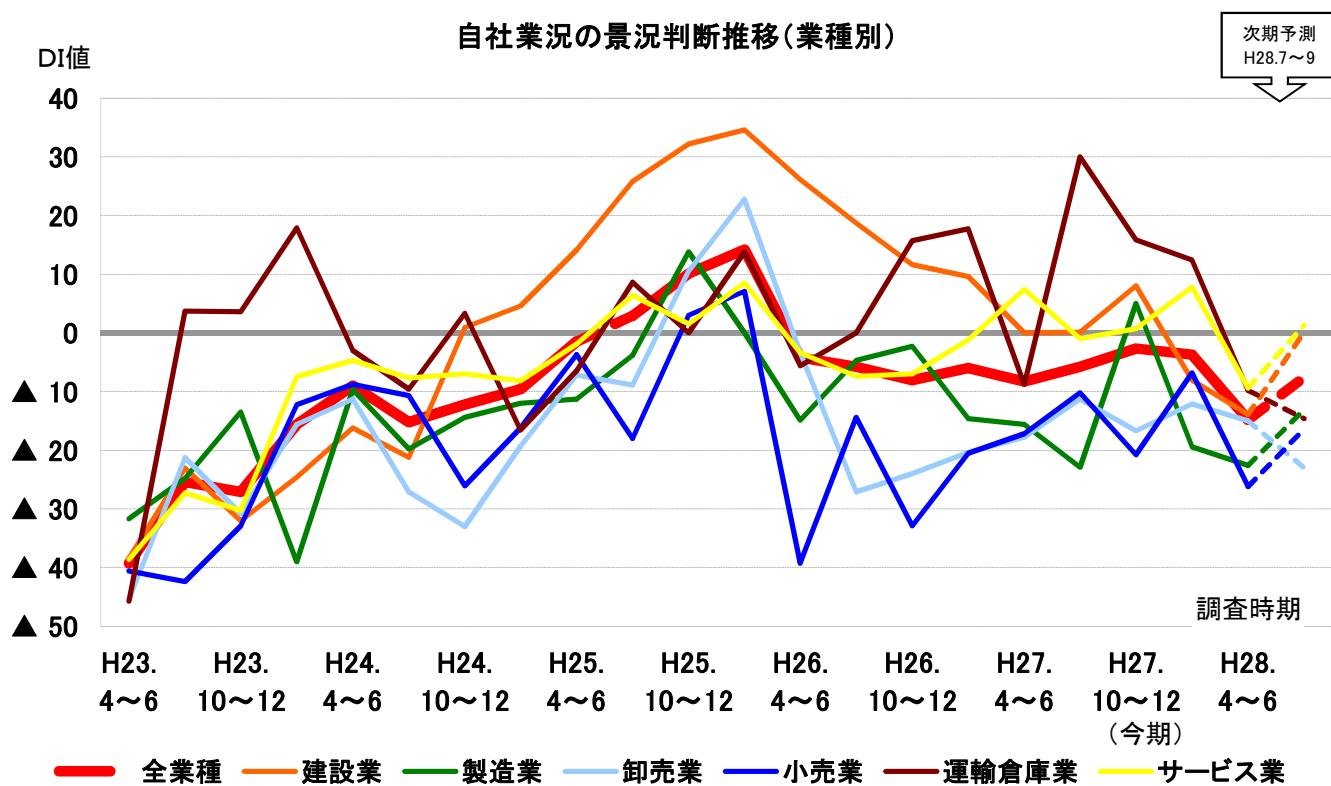
業種別にみると、建設業（前期▲8.1→今期▲13.9）、製造業（▲19.4→▲22.6）、卸売業（▲12.1→▲15.0）、小売業（▲6.8→▲26.2）、運輸・倉庫業（12.4→▲9.8）、サービス業（7.8→▲9.4）とすべての業種で悪化した。

次期四半期（平成28年7月～9月）予測については、▲7.6となっており、今期比+7.2ポイントで、改善の見通しとなる。

### 《自社業況の総合判断(前年同期と比較して)》

(单位%)

	今四半期(28年4~6月期)実績							次四半期(28年7~9月期)予測						
	非常に 良く なった	やや 良く なった	横ばい	やや 悪く なった	非常に 悪く なった	未記入	DI値	非常に 良く なる	やや 良く なる	横ばい	やや 悪く なる	非常に 悪く なる	未記入	DI値
全 業 種	2.2	18.0	40.5	28.4	6.6	4.3	▲ 14.8	0.8	17.0	44.3	23.0	2.4	12.5	▲ 7.6
建 設 業	1.6	13.8	48.0	22.8	6.5	7.3	▲ 13.9	0.0	17.1	53.7	15.4	1.6	12.2	0.1
製 造 業	2.4	14.3	38.1	28.6	10.7	6.0	▲ 22.6	1.2	14.3	44.0	26.2	2.4	11.9	▲ 13.1
卸 売 業	2.0	19.0	42.0	28.0	8.0	1.0	▲ 15.0	1.0	12.0	41.0	34.0	2.0	10.0	▲ 23.0
小 売 業	3.3	18.0	23.0	37.7	9.8	8.2	▲ 26.2	0.0	14.8	32.8	23.0	8.2	21.3	▲ 16.4
運輸・倉庫業	0.0	19.5	51.2	22.0	7.3	0.0	▲ 9.8	0.0	12.2	56.1	26.8	0.0	4.9	▲ 14.6
サービス業	2.7	21.1	39.9	29.6	3.6	3.1	▲ 9.4	1.3	22.0	41.7	20.2	1.8	13.0	1.3
中 小 企 業	2.2	18.0	40.6	28.0	6.9	4.4	▲ 14.7	2.8	25.0	38.9	19.4	0.0	13.9	8.4
大 企 業	2.8	19.4	41.7	30.6	2.8	2.8	▲ 11.2	0.7	16.6	44.6	23.2	2.5	12.4	▲ 8.4



## 2. 生産額、売上額、完成工事高

《今期悪化に転じるも、次期は改善の見通し》

生産額、売上額、完成工事高については、全業種では「増えた」と回答した企業は20.6%（前期比▲3.8ポイント）、「減った」と回答した企業は30.3%（前期比+1.8ポイント）、「横ばい」と回答した企業は45.9%（前期比+1.8ポイント）となっており、DI値は▲9.7（前期DI値▲4.1）と前期比▲5.6ポイントの悪化となった。

業種別にみると、製造業（前期▲22.4→今期▲5.9）では改善となった。一方、建設業（▲5.3→▲14.6）、卸売業（2.7→▲16.0）、小売業（▲13.7→▲24.6）、運輸・倉庫業（▲4.2→▲9.9）、サービス業（4.3→▲0.4）で悪化となった。

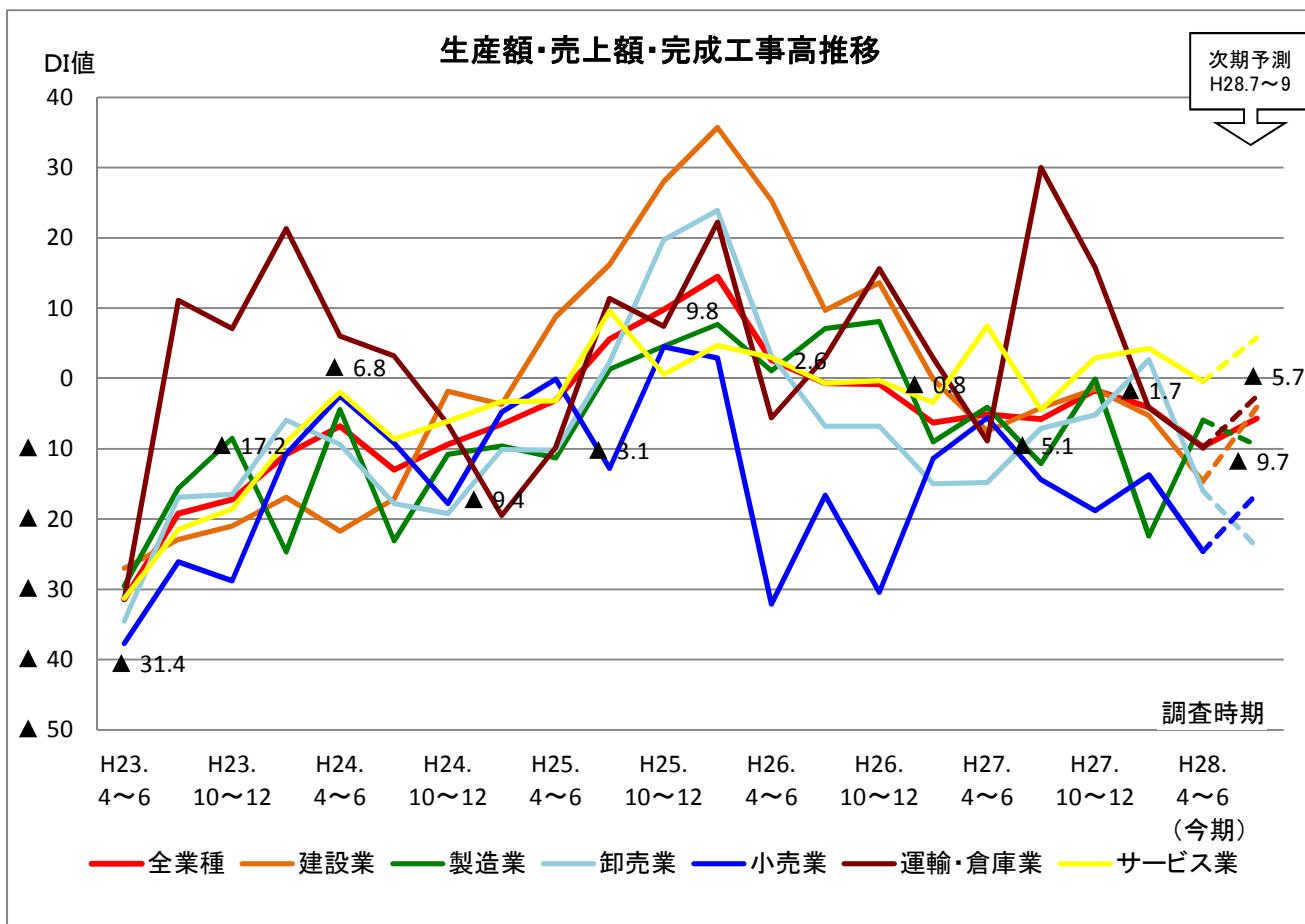
規模別にみると、中小企業（前期▲6.6→今期▲10.3）、大企業（9.9→8.3）ともに悪化した。

次四半期（平成28年7月～9月）予測については、▲5.7となっており、今期比で+4.0ポイントで、改善の見通しとなる。

《生産額、売上額、完成工事高(前年同期と比較して)》

(単位 %)

	今四半期(28年4～6月期)実績							次四半期(28年7～9月期)予測						
	2ヶタ増	1ヶタ増	横ばい	1ヶタ減	2ヶタ減	未記入	DI値	2ヶタ増	1ヶタ増	横ばい	1ヶタ減	2ヶタ減	未記入	DI値
全 業 種	4.7	15.9	45.9	21.8	8.5	3.2	▲ 9.7	2.2	15.0	48.1	17.4	5.5	11.8	▲ 5.7
建 設 業	4.1	10.6	55.3	19.5	9.8	0.8	▲ 14.6	1.6	13.0	61.0	12.2	6.5	5.7	▲ 4.1
製 造 業	3.6	21.4	42.9	22.6	8.3	1.2	▲ 5.9	0.0	13.1	56.0	19.0	3.6	8.3	▲ 9.5
卸 売 業	3.0	15.0	47.0	26.0	8.0	1.0	▲ 16.0	1.0	11.0	43.0	31.0	5.0	9.0	▲ 24.0
小 売 業	6.6	13.1	31.1	36.1	8.2	4.9	▲ 24.6	3.3	11.5	37.7	23.0	8.2	16.4	▲ 16.4
運輸・倉庫業	2.4	14.6	48.8	22.0	4.9	7.3	▲ 9.9	2.4	14.6	51.2	19.5	0.0	12.2	▲ 2.5
サービス業	6.3	18.4	45.3	16.1	9.0	4.9	▲ 0.4	3.6	19.7	42.6	11.2	6.3	16.6	5.8
中 小 企 業	4.9	15.3	46.3	21.8	8.7	3.0	▲ 10.3	2.3	14.6	48.3	17.4	5.7	11.6	▲ 6.2
大 企 業	2.8	27.8	41.7	16.7	5.6	5.6	8.3	0.0	22.2	44.4	13.9	2.8	16.7	5.5



### 3. 原材料、製(商)品仕入価格

《今期下落に転じ、次期も下落する見通し》

原材料、製(商)品仕入価格については、「上昇」と回答した企業は19.6%（前期比▲7.4ポイント）、「下落」と回答した企業は4.7%（前期比▲1.4ポイント）、「横ばい」と回答した企業は59.5%（前期比+8.1ポイント）となっており、DI値は14.9（前期20.9）と前期比▲6.0ポイントとなった。

業種別にみると、製造業（前期13.5→今期16.6）、卸売業（22.9→30.0）は上昇。一方、建設業（25.3→14.6）、小売業（34.1→6.5）、運輸・倉庫業（▲16.7→▲17.1）サービス業（22.3→15.7）は下落となった。

規模別にみると、中小企業（前期21.7→今期15.3）、大企業（13.4→8.4）ともに下落した。

次四半期（平成28年7月～9月）予測については、+13.6となっており、今期比で▲1.3ポイントで、下落の見通し。

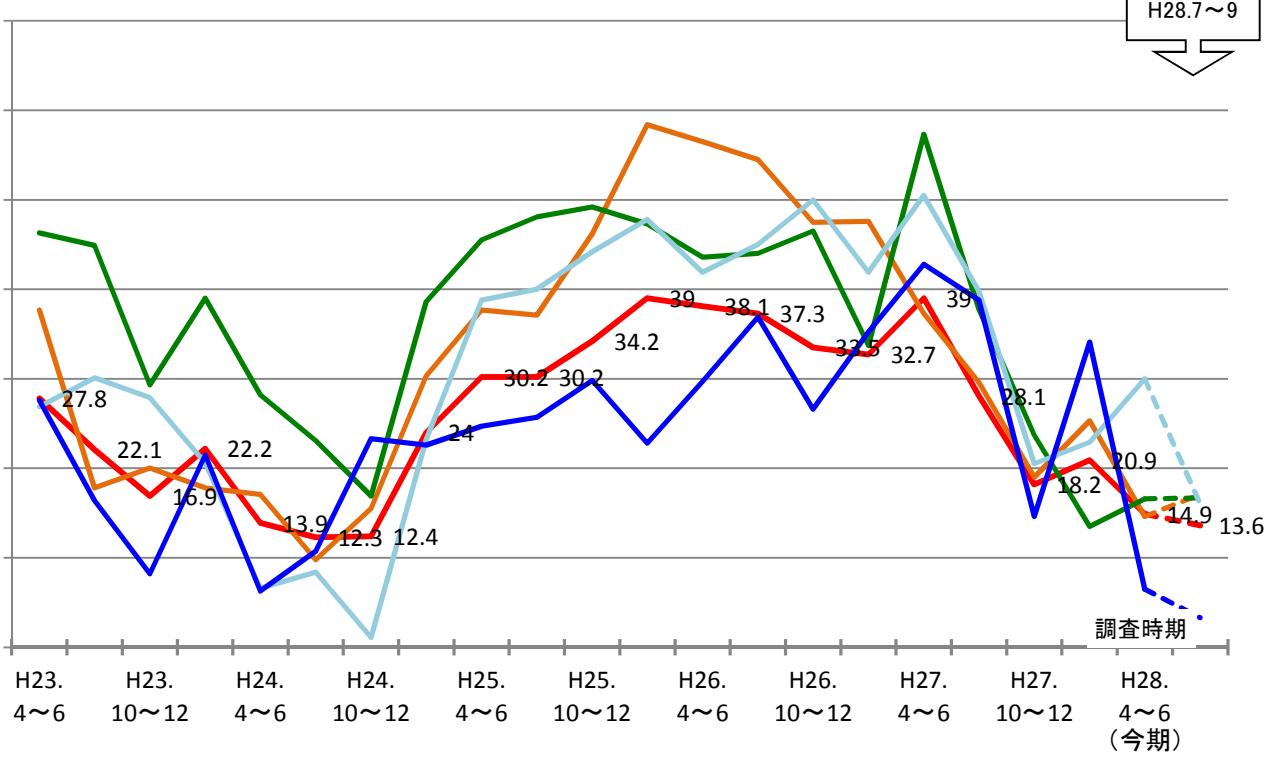
《 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(28年4～6月期)実績					次四半期(28年7～9月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	(19.6)	(59.5)	(4.7)	16.2	(14.9)	16.6	55.8	3.0	24.6	(13.6)
建設業	18.7	70.7	4.1	6.5	14.6	17.1	69.1	0.0	13.8	17.1
製造業	21.4	73.8	4.8	0.0	16.6	17.9	71.4	1.2	9.5	16.7
卸売業	35.0	56.0	5.0	4.0	30.0	23.0	58.0	7.0	12.0	16.0
小売業	18.0	57.4	11.5	13.1	6.5	14.8	50.8	11.5	23.0	3.3
運輸・倉庫業	2.4	36.6	19.5	41.5	▲ 17.1	7.3	46.3	4.9	41.5	2.4
サービス業	16.1	53.8	0.4	29.6	15.7	15.2	44.4	0.9	39.5	14.3
中小企業	19.8	59.2	4.5	16.4	15.3	16.9	55.7	2.7	24.7	14.2
大企業	16.7	61.1	8.3	13.9	8.4	11.1	55.6	8.3	25.0	2.8

DI値

原材料・製(商)品仕入価格推移

次期予測  
H28.7～9



## 4. 受注価格、販売価格

《今期大幅に下落したが、次期は微増の見通し》

受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業は8.4%（前期比▲4.0ポイント）、「下落」と回答した企業は15.8%（前期比+2.7ポイント）、「横ばい」と回答した企業は69.7%（前期比+1.4ポイント）となっており、DI値は▲7.4（前期DI値▲0.7）と前期比▲6.7ポイントの上昇した。

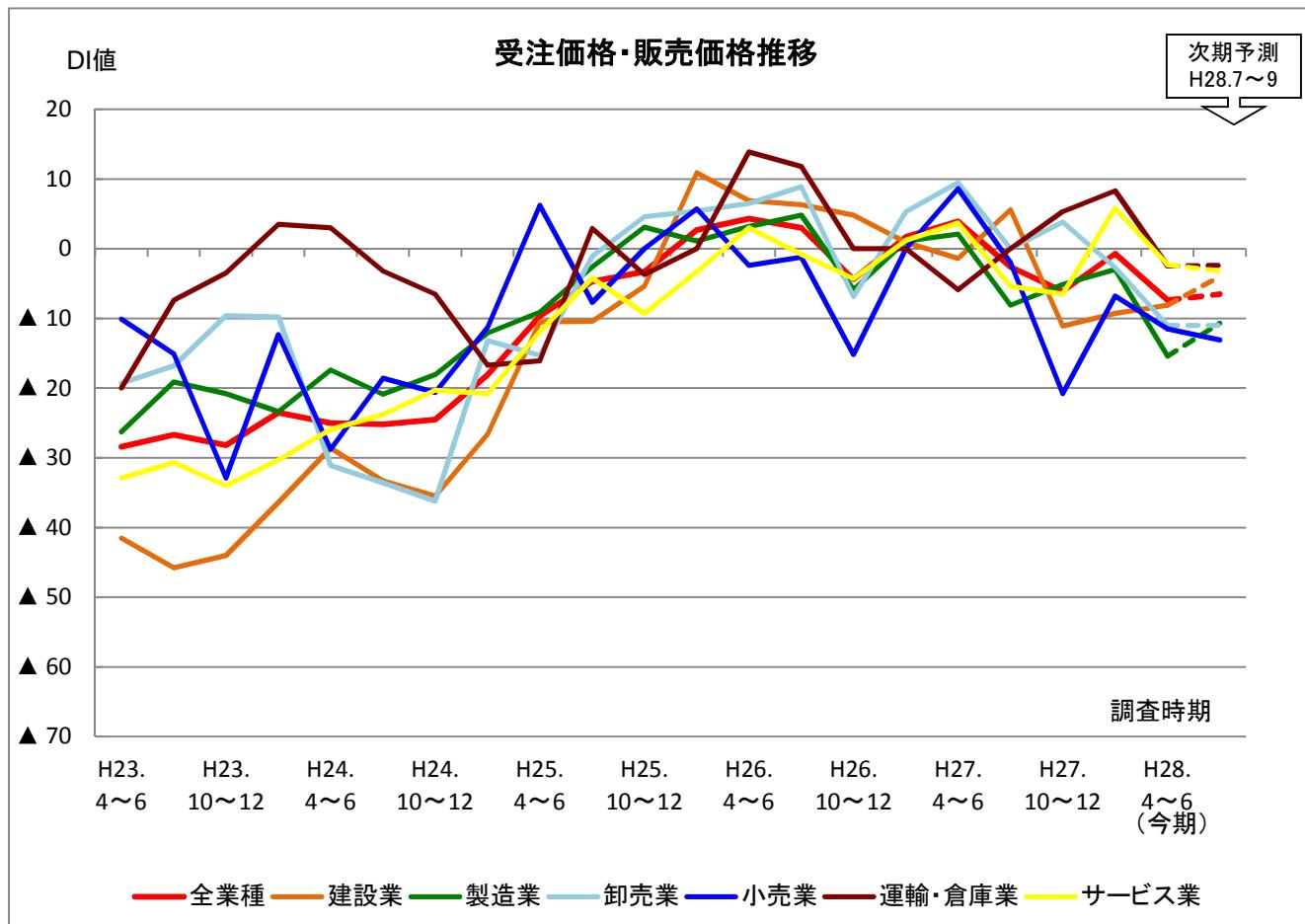
業種別にみると建設業（前期▲9.3→今期▲8.1）は上昇。一方、製造業（▲3.0→▲15.4）、卸売業（▲2.7→▲11.0）小売業（▲6.8→▲11.5）、運輸・倉庫業（8.3→▲2.5）、サービス業（5.8→▲2.3）は下落となった。

規模別にみると、中小企業（前期▲3.3→今期▲7.2）、大企業（13.3→▲11.1）ともに下落となった。

次期（平成28年7月～9月）予測については、▲6.5となっており、今期比で+0.9ポイントと、上昇の見通しと

《受注価格、販売価格(前年同月と比較して)》 (単位 %)

	今四半期(28年4～6月期)実績					次四半期(28年7～9月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	8.4	69.7	15.8	6.2	▲7.4	6.0	65.8	12.5	15.8	▲6.5
建設業	5.7	77.2	13.8	3.3	▲8.1	4.9	77.2	8.9	8.9	▲4.0
製造業	4.8	75.0	20.2	0.0	▲15.4	2.4	75.0	13.1	9.5	▲10.7
卸売業	8.0	70.0	19.0	3.0	▲11.0	8.0	62.0	19.0	11.0	▲11.0
小売業	16.4	50.8	27.9	4.9	▲11.5	8.2	50.8	21.3	19.7	▲13.1
運輸・倉庫業	2.4	85.4	4.9	7.3	▲2.5	0.0	82.9	2.4	14.6	▲2.4
サービス業	10.3	65.5	12.6	11.7	▲2.3	7.6	58.3	10.8	23.3	▲3.2
中小企業	8.2	70.1	15.4	6.2	▲7.2	5.9	66.4	11.9	15.8	▲6.0
大企業	11.1	61.1	22.2	5.6	▲11.1	8.3	52.8	22.2	16.7	▲13.9



## 5. 製(商)品在庫

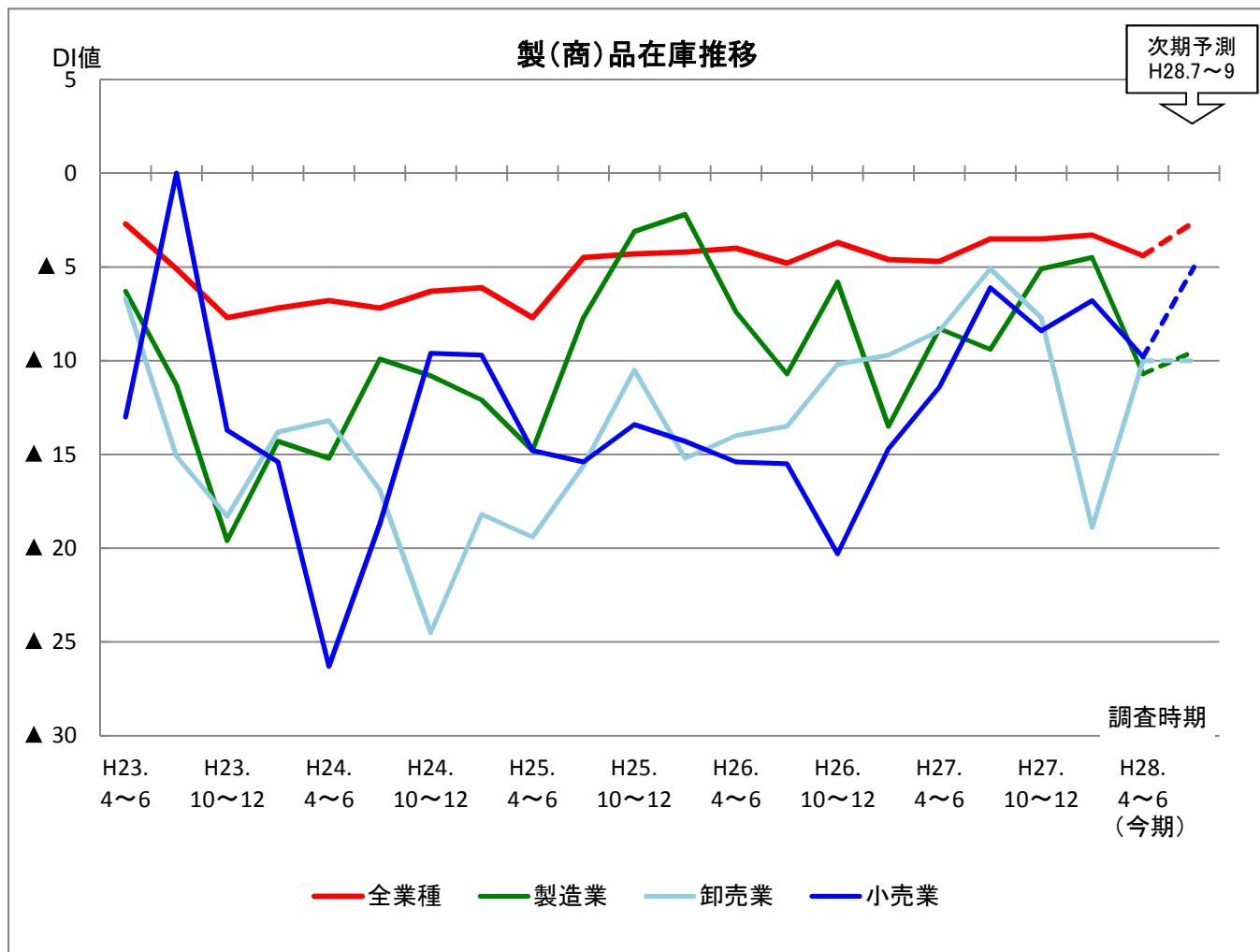
《横ばい傾向は続く、次期はわずかに適正傾向へ》

製(商)在庫については、「適正」と回答した企業は60.9%（前期比+1.5ポイント）、「不足」と回答した企業は1.9%（前期比▲1.6ポイント）、「過剰」と回答した企業は6.3%（前期比▲0.5ポイント）となっており、DI値は▲4.4（前期DI値▲3.3）となった。

次四半期（平成28年7月～9月）予測については、▲2.6の見通し。

《 製(商)品在庫(貴社の適正水準と比較して) 》 ( 単位 % )

	今四半期(28年4～6月期)実績					次四半期(28年7～9月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	1.9	60.9	6.3	30.9	▲4.4	2.4	55.2	5.0	37.4	▲2.6
建設業	3.3	46.3	1.6	48.8	1.7	3.3	45.5	0.8	50.4	2.5
製造業	2.4	79.8	13.1	4.8	▲10.7	1.2	76.2	10.7	11.9	▲9.5
卸売業	3.0	80.0	13.0	4.0	▲10.0	4.0	69.0	14.0	13.0	▲10.0
小売業	0.0	82.0	9.8	8.2	▲9.8	1.6	72.1	6.6	19.7	▲5.0
運輸・倉庫業	0.0	36.6	2.4	61.0	▲2.4	0.0	39.0	2.4	58.5	▲2.4
サービス業	1.3	52.0	2.7	43.9	▲1.4	2.2	44.8	0.9	52.0	1.3
中小企業	2.0	60.4	6.2	31.4	▲4.2	2.5	54.5	5.2	37.8	▲2.7
大企業	0.0	69.4	5.6	25.0	▲5.6	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0



## 6. 営業利益

《次期は改善の見通し》

営業利益については、「増加」と回答した企業は16.6%（前期比▲3.8ポイント）、「減少」と回答した企業は36.0%（前期比+2.0ポイント）、「横ばい」と回答した企業は46.5%（前期比+2.1ポイント）となっており、DI値は▲19.4（前期DI値▲13.6）と前期比▲5.8ポイントの悪化となった。

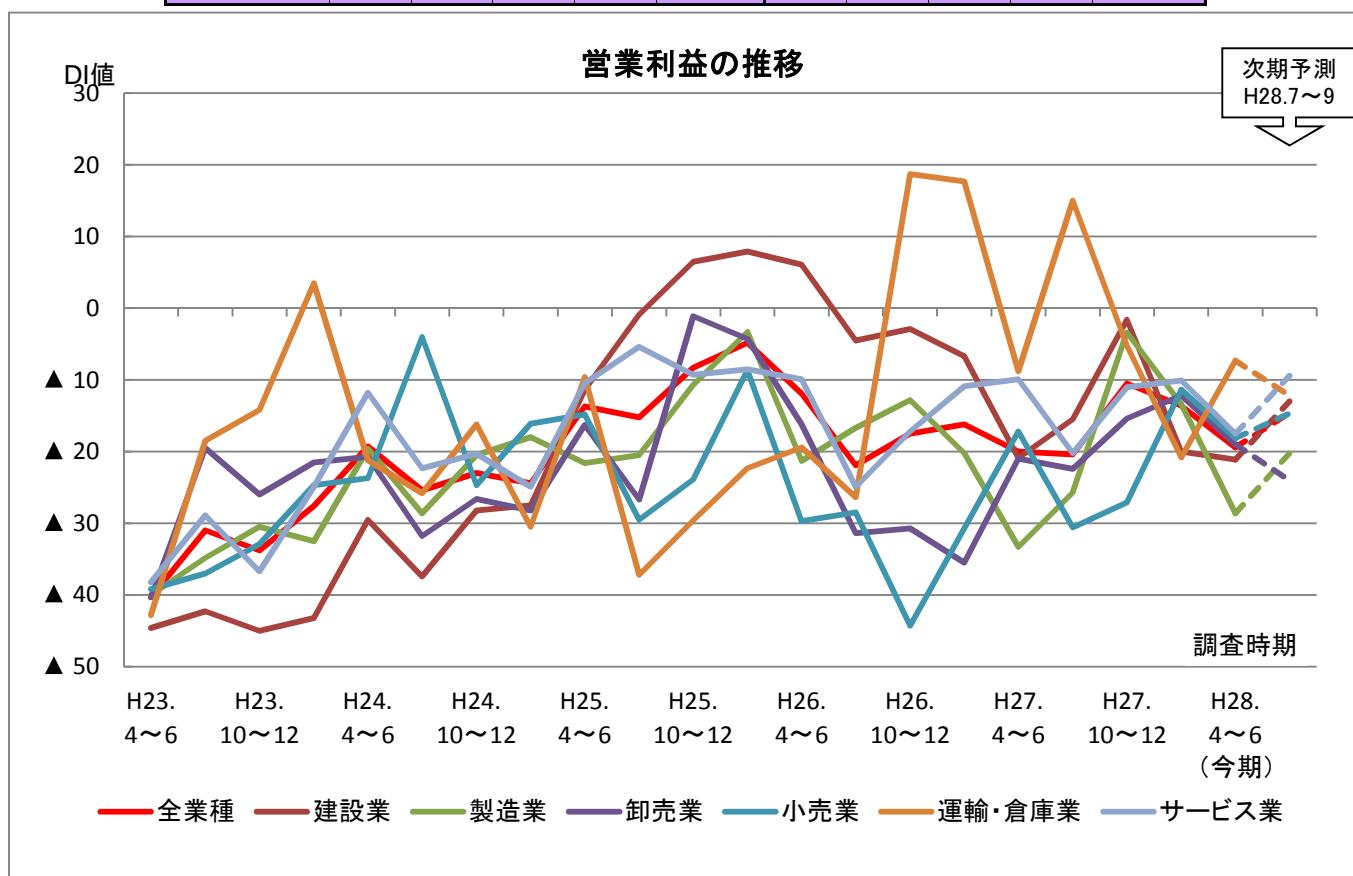
業種別にみると、運輸・倉庫業（前期▲20.8→今期▲7.3）は改善。一方、建設業（▲20.0→▲21.1）、製造業（▲13.4→▲28.6）、卸売業（▲12.2→▲19.0）、小売業（▲11.4→▲18.1）、サービス業（▲10.1→▲17.5）は悪化となった。

規模別にみると、中小企業（前期▲17.1→今期▲19.8）、大企業（8.3→▲11.1）ともに悪化した。

次四半期（平成28年7月～9月）予測については、▲14.6となっており、今期比で+4.8ポイントで、改善の見通し。

《 営業利益(前年同期と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(28年4～6月期)実績					次四半期(28年7～9月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	16.6	46.5	36.0	0.9	▲19.4	13.6	47.5	28.2	10.7	▲14.6
建設業	12.2	53.7	33.3	0.8	▲21.1	13.8	53.7	26.8	5.7	▲13.0
製造業	14.3	42.9	42.9	0.0	▲28.6	11.9	46.4	32.1	9.5	▲20.2
卸売業	16.0	48.0	35.0	1.0	▲19.0	9.0	49.0	33.0	9.0	▲24.0
小売業	26.2	26.2	44.3	3.3	▲18.1	16.4	36.1	31.1	16.4	▲14.7
運輸・倉庫業	17.1	58.5	24.4	0.0	▲7.3	12.2	56.1	24.4	7.3	▲12.2
サービス業	17.5	46.6	35.0	0.9	▲17.5	15.7	45.3	25.1	13.9	▲9.4
中小企業	16.3	47.0	36.1	0.7	▲19.8	13.4	47.7	28.5	10.4	▲15.1
大企業	22.2	38.9	33.3	5.6	▲11.1	16.7	44.4	22.2	16.7	▲5.5



## 7. 資金繰り

《3期連続の改善、次期は悪化の見通し》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は12.5%（前期比▲2.3ポイント）、「苦しい」と回答した企業は14.4%（前期比▲4.4ポイント）、「不变」と回答した企業は72.2%（前期比+6.7ポイント）となっており、DI値は▲1.9（前期DI値▲4.0）と前期比+2.1ポイントの改善となった。

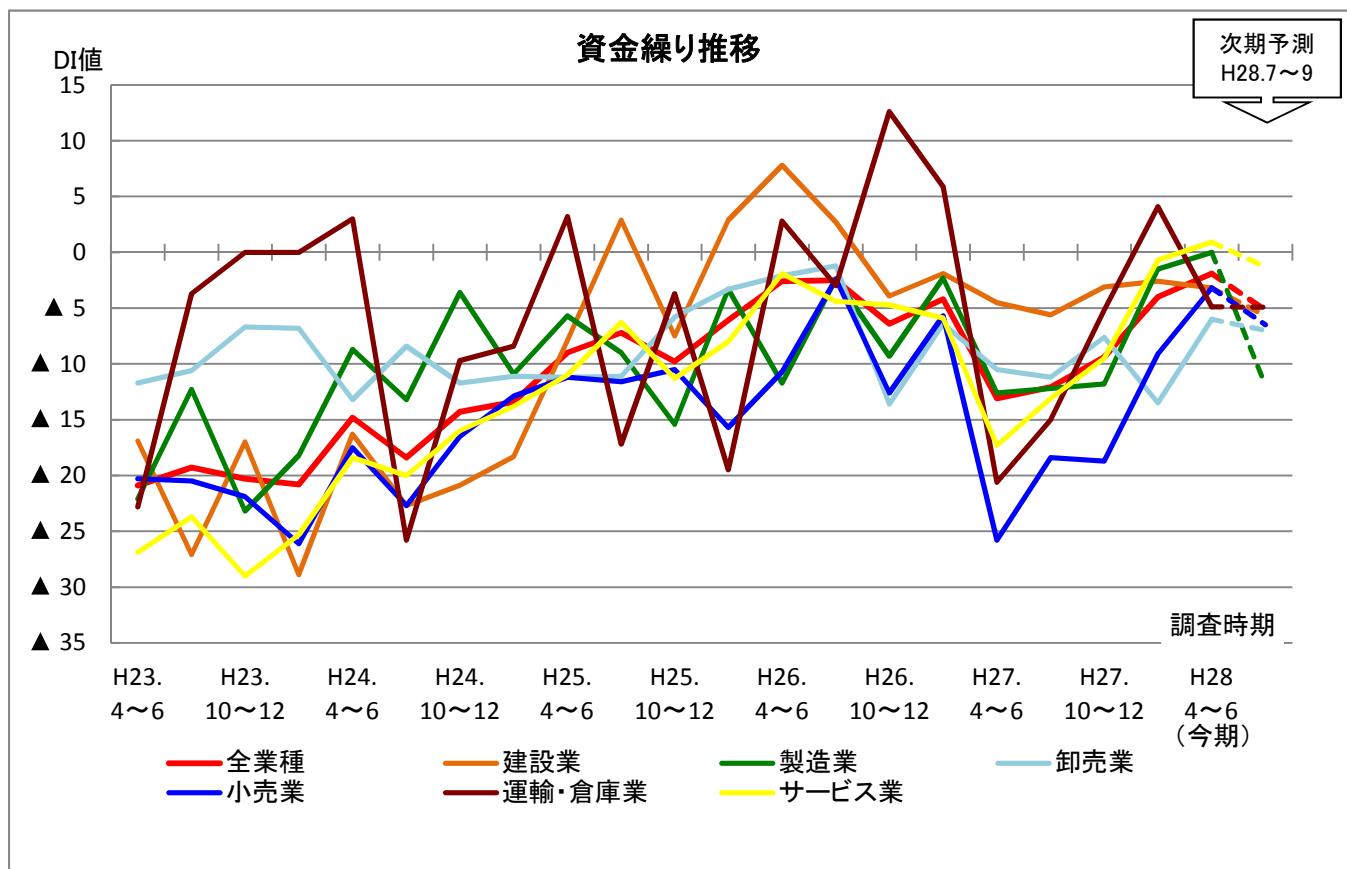
業種別にみると、製造業（前期▲1.5→今期±0）、卸売業（▲13.5→▲6.0）、小売業（▲9.1→▲3.2）、サービス業（▲0.7→0.9）は改善。一方、建設業（▲2.6→▲3.2）、運輸・倉庫業（4.1→▲4.9）は悪化となった。

規模別にみると、中小企業（前期▲6.0→今期▲2.7）、大企業（8.3→11.1）ともに改善となった。

次四半期（平成28年7月～9月）予測については、▲5.2となっており、今期比で▲3.3ポイントと、悪化の見通し。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》 ( 単位 % )

	今四半期(28年4～6期)実績					次四半期(28年7～9月期)予測				
	楽である	不变	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不变	苦しくなる	未記入	DI値
全 業 種	12.5	72.2	14.4	0.9	▲ 1.9	8.2	67.7	13.4	10.7	▲ 5.2
建 設 業	12.2	71.5	15.4	0.8	▲ 3.2	8.9	70.7	14.6	5.7	▲ 5.7
製 造 業	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	4.8	69.0	16.7	9.5	▲ 11.9
卸 売 業	6.0	81.0	12.0	1.0	▲ 6.0	6.0	71.0	13.0	10.0	▲ 7.0
小 売 業	14.8	65.6	18.0	1.6	▲ 3.2	11.5	55.7	18.0	14.8	▲ 6.5
運輸・倉庫業	7.3	80.5	12.2	0.0	▲ 4.9	4.9	78.0	9.8	7.3	▲ 4.9
サ ー ビ ス 業	15.2	69.1	14.3	1.3	0.9	9.9	65.0	11.2	13.9	▲ 1.3
中 小 企 業	12.6	71.3	15.3	0.8	▲ 2.7	8.2	66.9	14.3	10.6	▲ 6.1
大 企 業	11.1	86.1	0.0	2.8	11.1	8.3	77.8	0.0	13.9	8.3



## 8. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点として最も多かったのは、「人材難、求人難、定着化の悪化」50.3%（前期比+2.4ポイント）であり、次いで「受注、需要の増加又は減少」43.7%（前期比▲0.2ポイント）、「営業利益の低下」32.0%（前期比▲0.2ポイント）、「経費の増加」25.6%（前期比▲0.7ポイント）、「天候などの自然条件」16.4%（前期比+3.0ポイント）となった。

業種別でみると、建設業では「人材難、求人難、定着化の悪化」63.4%、製造業では「受注、需要の増加又は減少」53.6%、卸売業では「受注、需要の増加又は減少」48.0%、小売業では「人材難、求人難、定着化の悪化」37.7%、運輸・倉庫業では「人材難、求人難、定着化の悪化」63.4%、サービス業では「人材難、求人難、定着化の悪化」58.3%で、それぞれ最も多かった。

規模別でみると、中小企業では「人材難、求人難、定着化の悪化」51.2%、大企業では「受注、需要の増加又は減少」41.7%で、最も多かった。

《当面の経営上の問題点(複数回答可)》 (単位 %)

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	条件天候などの自然	加受注は減少の増	出店同業大者型店類似進	官公需要の停滞	輸出の不振	少元(直)請の減	低操業率、稼働率	難原材料高、入手	の出荷下げ納品請価格	過剰在庫	嫁販難賣価格への転	増難販賣代良債権の回	化売、売代形間化の長期
全業種	(16.4)	(43.7)	11.7	11.2	1.1	5.2	6.8	9.9	8.5	3.8	12.6	3.0	3.6
建設業	11.4	53.7	3.3	22.8	0.8	12.2	7.3	6.5	6.5	1.6	8.1	2.4	4.9
製造業	8.3	(53.6)	6.0	10.7	1.2	6.0	16.7	13.1	9.5	4.8	22.6	1.2	4.8
卸売業	30.0	(48.0)	11.0	7.0	2.0	2.0	3.0	15.0	22.0	11.0	20.0	6.0	4.0
小売業	23.0	32.8	26.2	4.9	0.0	0.0	1.6	13.1	3.3	8.2	14.8	6.6	1.6
運輸・倉庫業	17.1	24.4	2.4	0.0	4.9	7.3	9.8	4.9	7.3	0.0	4.9	0.0	0.0
サービス業	14.3	38.6	16.6	10.8	0.4	3.1	5.4	8.5	4.9	0.4	8.5	2.2	3.6
中小企業	15.4	43.6	11.7	11.6	1.0	5.2	6.7	10.1	8.6	3.9	13.1	3.2	3.9
大企業	33.3	(41.7)	11.1	5.6	2.8	2.8	8.3	8.3	8.3	0.0	2.8	0.0	0.0

問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不陥足、舗駐、車工場用の地狭	代剩店化、舗駐、老化的遅朽設備過近	上家が賃り、化難人、材定難着、化求の人の値	化難人、材定難着、化求の人の値	費人増手過剰、人件	対労務管理、組合	資金借入難	金利負担の増加	難情報不足、人手	その他	無回答
全業種	(25.6)	(32.0)	4.3	7.7	2.8	(50.3)	7.6	5.2	3.3	2.5	4.1	4.6	2.5
建設業	21.1	33.3	4.1	0.8	2.4	(63.4)	5.7	4.9	4.1	4.1	3.3	3.3	2.4
製造業	21.4	47.6	8.3	10.7	0.0	32.1	7.1	4.8	1.2	0.0	2.4	1.2	2.4
卸売業	31.0	40.0	8.0	13.0	1.0	35.0	6.0	0.0	1.0	6.0	5.0	2.0	2.0
小売業	26.2	32.8	3.3	14.8	6.6	(37.7)	9.8	4.9	3.3	1.6	1.6	8.2	1.6
運輸・倉庫業	39.0	22.0	4.9	9.8	2.4	(63.4)	7.3	9.8	2.4	2.4	2.4	7.3	0.0
サービス業	24.7	23.3	1.3	5.8	4.0	(58.3)	9.0	7.2	4.9	1.3	5.8	6.3	3.6
中小企業	25.8	32.2	4.0	7.2	3.0	(51.2)	7.4	5.0	3.5	2.7	4.4	4.7	2.5
大企業	22.2	27.8	8.3	16.7	0.0	38.9	11.1	8.3	0.0	0.0	2.8	2.8	2.8

## 自社業況の景況判断推移(「良くなつた」「悪くなつた」別、時代背景参考)

